

◆特定共同研究(A) (研究期間:平成26年4月1日または平成26年7月8日～平成27年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2013-A-03	末次 大輔	海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域	歌田 久司	地球深部の構造とダイナミクス
2	2014-A-01(1412)	中谷正生	東京大学・地震研究所	中谷正生	次世代プレート境界地震発生モデル構築のための実験的・理論的研究
3	2014-A-01(1416)	鶴岡弘	東京大学・地震研究所	鶴岡弘	地震活動に基づく地震発生予測検証実験
4	2014-A-01(1406)	篠原雅尚	東京大学・地震研究所	篠原雅尚	日本海溝・相模トラフプレート境界で起こる多様なすべり現象の包括的モデル構築
5	2014-A-01(1415)	小原一成	東京大学・地震研究所	小原一成	プレート境界すべり現象モニタリングに基づくプレート間カップリングの解明
6	2014-A-01(2301)	八木原寛	鹿児島大学・大学院理工学研究科	企画部	海域と島嶼域における地震・地殻変動観測による南西島弧北部プレート境界域テクトニクスの観測研究
7	2014-A-01(2501)	長尾年恭	東海大学・海洋研究所	企画部	電磁氣的先行現象の観測と統計評価による他種の先行現象との比較
8	2014-A-01(1805)	西上欽也	京都大学・防災研究所	企画部	注水実験による内陸地震の震源断層の詳細な構造と回復過程の研究
9	2014-A-01(1203)	松澤暢	東北大学・大学院理学研究科	企画部	地殻応答による断層への応力载荷過程の解明と予測
10	2014-A-01(1703)	鈴木 康弘	名古屋大学・減災連携研究センター	企画部	地表地震断層および活断層の地表形状・変位量データにもとづく直下型大地震の規模・頻度予測手法の高度化—LiDAR等の高解像度DEMを用いた検討

◆特定共同研究(B) (研究期間:平成26年4月1日-平成27年3月31日)

(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2012-B-01	継続	安藤 忍	気象庁・気象研究所	青木 陽介	SARを用いた地殻変動研究
2	2013-B-02	継続	武尾 実	東京大学・地震研究所	市原 美恵	火口近傍における多項目観測による噴火機構の解明
3	2013-B-04	継続	平賀 岳彦	東京大学・地震研究所	平賀 岳彦	先端的材料科学技術による鉱物多結晶合成とそれを用いた新たな実験地球物質科学の創生
4	2013-B-05	継続	三宅 弘恵	東京大学・地震研究所	亀 伸樹	地震ハザード評価のための震源モデルの動力学的展開
5	2013-B-06	継続	飯塚 敦	神戸大学・自然科学系先端融合研究環	堀 宗朗	巨大地震津波災害のシミュレーション統合
6	2013-B-07	継続	中野 慎也	統計数理研究所・モデリング研究系	福田 淳一	固体地球科学におけるデータ同化法の構築
7	2013-B-08	継続	田中 宏幸	東京大学・地震研究所	田中 宏幸	ミュオグラフィ開発/利用コンソーシアム
8	2013-B-09	継続	伊藤 喜宏	京都大学・防災研究所	望月 公廣	スロースリップの観測とモデリング:ヒクラギ沈み込み帯
9	2013-B-11	継続	佐伯 和人	大阪大学・大学院理学研究科	市原 美恵	火山観測ロボット群の運用準備確立計画
10	2014-B-13	新規	佐藤 比呂志	東京大学・地震研究所	石山 達也	日本列島のコミュニティ・ブロックモデルの構築
11	2014-B-14	新規	安田 敦	東京大学・地震研究所	安田 敦	顕微FTIR反射分光法の応用と高度化:含水量データ10倍増計画
12	2014-B-15	新規	山本真行	高知工科大学・システム工学群	今西 祐一	地震波・微気圧波計測を融合した地殻・大気中現象の波源・規模推定
13	2014-B-16	新規	高橋 栄一	東京工業大学・大学院理工学研究科	栗田 敬	巨大地震が励起する火山活動の活性化過程の研究
14	2014-B-17	新規	井上 邦雄	東北大学・ニュートリノ科学研究センター	田中 宏幸	指向性を持つ小型反ニュートリノ検出器の開発とその素粒子地球物理創成への展開

◆特定共同研究(C) (研究期間:平成26年4月1日-平成27年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2013-C-01	地震火山噴火 予知研究推進 センター長	東京大学・地震 研究所	地震火山噴火 予知研究推進 センター長	防災研究フォーラムによる地震火山研究の推進
2	2013-C-02	木村 尚紀	防災科学技術研 究所・地震・火山 防災研究ユニッ ト	平田 直	首都直下地震の地震ハザード・リスク予測のための調査・ 研究

◆一般共同研究（研究期間：平成26年4月1日-平成27年3月31日）

（所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2014-G-01	相澤 広記	九州大学・大学院理学研究院	上嶋 誠	機動的電場観測装置の開発
2	2014-G-02	深尾 良夫	海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域	篠原 雅尚	海洋／固体地球システム現象解明のための高感度絶対水圧計海底アレー観測
3	2014-G-03	石橋 秀巳	静岡大学・大学院理学研究科	安田 敦	富士山新期噴出物の鉱物化学分析に基づくマグマプロセスの検討
4	2014-G-04	橋本 明弘	気象庁気象研究所	鈴木 雄治郎	気象予測モデルと3次元噴煙ダイナミクスモデルを統合した火山灰輸送モデルの高度化に関する研究
5	2014-G-05	田部井 隆雄	高知大学・教育研究部	加藤 照之	四国西部における中央構造線の深部構造と現在の運動様式
6	2014-G-06	吉本 充宏	北海道大学・大学院理学研究院	中田 節也	インドネシア・メラピ火山の2011年噴火の火山泥流堆積物の定置温度の推定
7	2014-G-07	上西 幸司	東京大学・大学院工学系研究科	亀 伸樹	不均質媒質における地震破壊伝播の力学メカニズムに関する基礎的研究
8	2014-G-08	中村 仁美	東京工業大学・大学院理工学研究科	中井 俊一	極低含有量元素の同位体比から探る構造線沿いの温泉水の起源
9	2014-G-09	藤 浩明	京都大学・大学院理学研究科	清水 久芳	西太平洋域の広域地球磁場参照モデル
10	2014-G-10	小野 重明	海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域	三部 賢治	含鉄マグネサイト炭酸塩鉱物の電気伝導度
11	2014-G-11	三好 雅也	福井大学・教育地域科学部	中井 俊一	九州第四紀火山岩のウラントリウム放射非平衡分析
12	2014-G-12	山口 覚	大阪市立大学・大学院理学研究科	上嶋 誠	活断層の断層セグメント区分によって異なる地下構造の解明－横ずれ断層系への電気比抵抗構造からのアプローチ－
13	2014-G-13	小園 誠史	東北大学・大学院理学研究科	鈴木 雄治郎	非爆発的噴火から爆発的噴火への遷移過程に関する火道流の数値的研究
14	2014-G-14	鈴木 由希	早稲田大学教育・総合科学学術院	中田 節也	新期榛名火山、過去5万年間のマグマ供給系進化
15	2014-G-15	齋藤 務	室蘭工業大学・もの創造系領域	小屋口 剛博	爆発的火山噴火の数値モデル開発と噴流実験による検証
16	2014-G-16	石原 靖	海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域	竹内 希	南鳥島における広帯域地震観測
17	2014-G-17	勝田 長貴	岐阜大学・教育学部	安田 敦	浅間火山の山麓から湧出した沢の河床堆積物の火山活動記録の検出
18	2014-G-18	大園 真子	山形大学・理学部	加藤 照之	山形盆地断層帯周辺の地殻変動－詳細な余効変動観測と変形過程の把握－
19	2014-G-19	生田 領野	静岡大学・大学院理学研究科	加藤 照之	稠密GPS観測に基づく東海地方下の歪場とプレート境界のすべり分布の解明
20	2014-G-20	後藤 章夫	東北大学・東北アジア研究センター	平賀 岳彦	溶岩流試料の室内実験による粘性係数測定と、野外観測値との比較に基づく、溶岩流動機構の解明－その2－
21	2014-G-21	山中 佳子	名古屋大学・大学院環境学研究科	佐竹 健治	DSMを用いた新しい電源解析で得られたスマトラ地震、チリ地震震源過程の津波波形解析による検証
22	2014-G-22	金嶋 聡	九州大学・大学院理学研究院	川勝 均	火口直下の浅部火道における火山ガス流動に伴う振動現象の観測的研究

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
23	2014-G-23	中東 和夫	神戸大学・大学院理学研究科	山田 知朗	海底地震観測データを用いた東北日本沖の応力状態の推定
24	2014-G-24	鴨川 仁	東京学芸大学・教育学部	上嶋 誠	3.11東北太平洋沖地震後の電離圏擾乱から生じる地磁気・地電位差変動の研究
25	2014-G-25	安東 淳一	広島大学・大学院理学系研究科	中井 俊一	大理石岩体を破壊させた地殻流体の起源の解明
26	2014-G-26	植田 勇人	弘前大学・教育学部	折橋 裕二	中生代以降の北西太平洋における縁海プレート配置の復元:千島弧-東北日本弧接合部における地質年代学からのアプローチ

◆研究集会（研究期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会）

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催日 予定日
1	2014-W-01	末次 大輔	海洋研究開発機構・地球深部活動研究プログラム	歌田 久司	International Symposium on Normal Oceanic Mantle	H27年2月25～27日
2	2014-W-02	東田 進也	気象庁・地震火山部	ト部 卓 鶴岡弘	揺れの即時的予測システム：更なる高度化と新しい展開	H26年11月頃の2日間
3	2014-W-03	市原 美恵	東京大学・地震研究所	市原 美恵 折橋 裕二 加藤 愛太郎	Connecting the dots and lines in subduction volcanism and earthquakes	H26年5月～6月頃の3日間
4	2014-W-04	齊藤 竜彦	防災科学技術研究所・地震・火山防災研究ユニット	古村 孝志	海陸広域観測網がとらえる波動現象と地球内部不均質構造	H26年9月の2日間
5	2014-W-05	矢部 康男	東北大学・大学院理学研究科	平賀 岳彦	地震発生の素過程研究集会	H27年2月下旬
6	2014-W-06	廣瀬 仁	神戸大学・自然科学系先端融合研究環	小原 一成	スロー地震の発生メカニズムを探る：観測・実験・理論・モデリングからの情報の統合化と巨大地震との関連性の解明を目指して	H26年9月
7	2014-W-07	鈴木 雄治郎	東京大学・地震研究所	鈴木 雄治郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	H26年10月～12月の2日間
8	2014-W-08	堀 高峰	海洋研究開発機構・地震・津波防災研究プロジェクト	波多野 恭弘	室内実験と数値実験から探る地震活動の物理	H27年2月～3月の2日間
9	2014-W-09	川勝 均	東京大学・地震研究所	小原 一成 佐竹 健治	Summer School on Earthquake Science 2014	H27年7月以降

◆災害軽減研究（研究期間：平成26年7月8日～平成27年3月31日）

（災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、「2.地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題）

No.	No.	代表者名	所属機関	継続・新規	担当教員	研究課題
1	火山1	望月伸竜	熊本大学	新規	企画部	伊豆大島テフラの自然残留磁化の基礎研究
2	火山2	大場 武	東海大学	新規	企画部	火山ガス観測による箱根山の熱水系構造解明と群発地震発生予測
3	火山3	伴 雅雄	山形大学	新規	企画部	那須岳、最新活動期の噴火推移詳細解析に関する研究
4	火山4	吉本充宏	山梨県環境科学研究所	新規	企画部	草津白根火山の過去5000年間の活動履歴の解明
5	火山5	和田恵治	北海道教育大学 旭川校	新規	企画部	十勝岳と雌阿寒岳における噴火推移の高分解能な解析とマグマ供給系
6	史料 1	津久井雅志	千葉大学	新規	企画部	史料にもとづく北海道渡島大島火山寛保噴火による山体崩壊とマグマ活動に関する研究
7	史料2	蛭名裕一	東北大学 災害科学国際研究所	新規	企画部	東北地方太平洋沿岸地域における歴史災害資料の収集と分析
8	史料 3	小嶋茂稔	東京学芸大学	新規	企画部	東アジア地震史料の研究—そのデータベース化と災異思想の研究—
9	海溝型 1	平内健一	静岡大学	新規	企画部	模擬断層ガウジの動的破壊過程に対する法線応力依存性
10	先行 1	織原義明	東京学芸大学	新規	企画部	公的研究機関以外が所有する計測データを用いた地下水の地震先行現象調査
11	先行 2	上田誠也	東京大学 地震研究所	新規	企画部	臨界現象の物理を背景としたナチュラルタイム概念による地震活動度解析